

トルコギキョウ
Eustoma grandiflora
 (リンドウ科)

北アメリカ原産の宿根草であるが、栽培上は種子繁殖され、1年草として扱われる。近年育種が進み、花色のみならず、覆輪、八重咲きといったバリエーションも豊富で、周年生産されている。高温にも強く、すこぶる日持ちがよい。ただし、受粉によりエチレン生成が促されて小花が老化することが知られている。また、糖処理は収穫後開花する小花の花被の発色を促す。葉が萎れたり、開花小花が少なくなると日持ちが終了する。灰色カビ病の発生に注意を要する。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
開花	老化していない開花小花が C: 4輪以下 D: 2輪以下 となる	小花の日持ち終了は花弁が萎れてしわが寄った状態(写真C, D)とし、老化した小花は摘除する。
灰色カビ病	花弁, 葉, 茎に C: 小斑点(5mm以下) D: 大斑点, E: 花床部から褐変 または F: 葉や茎に菌糸体形成	発生のみられた小花や葉は摘除する 小斑点であっても D: 着色した小花の1/3 で発生がみられた場合には、日持ち終了と判定する。
茎葉の萎れ	視覚的に A: 張りがある B: 色が褪せ、やや萎れる C: 葉が垂れ下がるが、切り戻すと回復する D: 花首が垂れ、激しく萎れ、切り戻しても回復しない	
花色の退色・変色	視覚的に A: 退色・変色なし B: やや退色・変色する C: 強く退色・変色してくすみ D: 発色せず、くすみ激しい	評価開始後開花した小花の花色が発色不良となりやすく、総合的に判断する。 白色品種は判定不要
その他	茎葉の黄変・褐変、軟弱茎、茎基部の腐りなど。	

2) 留意点

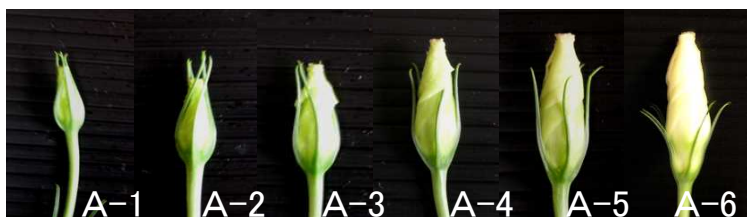
品質評価開始時点で小花長1cm(写真A-1)以上の小花数および開花数を数え、以後新たに開花した小花および老化した小花数を数える。
 老化した小花は摘除する。
 激しく萎れた段階で切り戻す。
 高濃度の糖を吸収させると葉に障害が発生する。
 低温の水を用いて低温下で水あげすると、吸水不良が起こる。
 STSによる前処理は日持ちを改善する。

3) 開花





4) チェック事項



小花の開花・老化

